



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本曹達株式会社

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 彰

問合せ先責任者 (役職名) 総務・法務グループリーダー

(氏名) 青木 啓値

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	99,965	△2.6	4,414	11.3	14,727	56.4	13,194	86.2
27年3月期第3四半期	102,663	5.4	3,967	△5.2	9,417	29.4	7,084	46.1

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 10,650百万円 (△25.5%) 27年3月期第3四半期 14,299百万円 (41.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	85.78	—
27年3月期第3四半期	46.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	229,970	135,612	57.8
27年3月期	221,285	127,181	54.6

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 133,009百万円 27年3月期 120,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	147,000	△0.7	6,300	△13.5	18,900	26.6	14,100	28.8	—	92.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	155,636,535 株	27年3月期	154,317,630 株
28年3月期3Q	21,546 株	27年3月期	2,312,454 株
28年3月期3Q	153,814,409 株	27年3月期3Q	152,023,270 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国やその他の新興国経済の景気減速や米国の利上げの影響等が懸念されるものの、原油安や堅調な個人消費等に支えられ、引き続き緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

化学業界におきましては、国内や米国での景気回復により需要は堅調に推移いたしました。その一方中国経済の減速による影響が憂慮されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は999億6千5百万円（前年同期比2.6%減）となりました。営業利益は、為替レートが前年度よりも円安であった影響もあり、44億1千4百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

経常利益は、米国の飼料添加物製造会社の業績が好調に推移したことにより持分法投資利益が増加し、147億2千7百万円（前年同期比56.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は131億9千4百万円（前年同期比86.2%増）となりました。

なお、当社と三和倉庫株式会社は、平成27年5月12日締結の株式交換契約に基づき、平成27年8月1日付で株式交換を行い、三和倉庫株式会社は当社の完全子会社となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [化学品事業]

カセイソーダ等が減少したものの、青化ソーダ、医薬品添加剤「HPC」及び樹脂添加剤「NISSO-PB」等が堅調に推移したことにより、当累計期間の[化学品事業]の売上高は316億8千万円（前年同期比2.0%増）となりました。

## [農業化学品事業]

殺菌剤「トップジンM」及び除草剤「ナブ」の輸出向けが伸長したものの、除草剤「ホーネスト」及び殺虫剤「モスピラン」の輸出向け等の減少により、当累計期間の[農業化学品事業]の売上高は260億9千7百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

## [商社事業]

各種無機薬品やウレタン原料等の減少により、当累計期間の[商社事業]の売上高は251億4千6百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

## [運輸倉庫事業]

倉庫業及び運送業等が堅調に推移したことにより、当累計期間の[運輸倉庫事業]の売上高は29億5千3百万円（前年同期並み）となりました。

## [建設事業]

プラント建設工事が堅調に推移したことにより、当累計期間の[建設事業]の売上高は90億6百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

## [その他]

当累計期間の[その他]の売上高は50億8千万円（前年同期比1.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ86億8千4百万円増加し、2,299億7千万円となりました。

負債につきましては、短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円増加し、943億5千8百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ84億3千万円増加し、1,356億1千2百万円となりました。なお、連結子会社である三和倉庫株式会社を株式交換により完全子会社化したことで、非支配株主持分が減少するとともに、資本剰余金が増加し自己株式の保有が減少いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、前回（平成27年11月6日）発表予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益が56百万円、税金等調整前四半期純利益が1,145百万円、それぞれ減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が1,145百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,875	16,256
受取手形及び売掛金	44,049	37,887
たな卸資産	28,400	33,396
繰延税金資産	1,834	1,599
その他	3,105	4,203
貸倒引当金	△36	△7
流動資産合計	92,229	93,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,177	16,940
機械装置及び運搬具(純額)	17,946	18,193
工具、器具及び備品(純額)	1,590	1,610
土地	15,370	15,345
リース資産(純額)	353	301
建設仮勘定	1,143	1,451
有形固定資産合計	53,581	53,843
無形固定資産		
のれん	1,173	997
その他	1,322	1,099
無形固定資産合計	2,496	2,097
投資その他の資産		
投資有価証券	59,556	66,750
退職給付に係る資産	7,486	8,327
繰延税金資産	3,065	2,368
その他	2,936	3,316
貸倒引当金	△66	△68
投資その他の資産合計	72,977	80,693
固定資産合計	129,055	136,634
資産合計	221,285	229,970

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,355	22,511
短期借入金	31,706	37,297
未払法人税等	1,433	238
賞与引当金	3,350	906
その他	7,997	6,656
流動負債合計	65,842	67,611
固定負債		
長期借入金	17,292	15,803
繰延税金負債	4,835	5,125
退職給付に係る負債	2,837	2,613
その他	3,296	3,204
固定負債合計	28,261	26,746
負債合計	94,104	94,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	26,095	29,359
利益剰余金	52,790	63,687
自己株式	△659	△15
株主資本合計	107,393	122,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,043	7,059
繰延ヘッジ損益	34	△56
為替換算調整勘定	5,663	3,046
退職給付に係る調整累計額	689	762
その他の包括利益累計額合計	13,430	10,811
非支配株主持分	6,356	2,602
純資産合計	127,181	135,612
負債純資産合計	221,285	229,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	102,663	99,965
売上原価	78,494	75,228
売上総利益	24,169	24,736
販売費及び一般管理費	20,201	20,321
営業利益	3,967	4,414
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	454	509
持分法による投資利益	3,987	9,647
その他	2,016	1,084
営業外収益合計	6,462	11,245
営業外費用		
支払利息	424	378
その他	587	553
営業外費用合計	1,012	932
経常利益	9,417	14,727
特別利益		
投資有価証券売却益	4	509
固定資産売却益	23	31
その他	—	27
特別利益合計	28	569
特別損失		
固定資産廃棄損	157	137
その他	3	49
特別損失合計	160	187
税金等調整前四半期純利益	9,284	15,109
法人税、住民税及び事業税	741	665
法人税等調整額	1,246	1,087
法人税等合計	1,987	1,753
四半期純利益	7,297	13,356
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	161
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,084	13,194



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	7,297	13,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,727	△10
繰延ヘッジ損益	△131	94
為替換算調整勘定	560	△305
退職給付に係る調整額	227	81
持分法適用会社に対する持分相当額	3,618	△2,566
その他の包括利益合計	7,001	△2,705
四半期包括利益	14,299	10,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,861	10,575
非支配株主に係る四半期包括利益	437	75

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社とし、三和倉庫株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、資本剰余金が3,264百万円増加し、自己株式が643百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	31,046	29,160	25,881	2,930	8,650	97,668	4,994	102,663	—	102,663
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,778	30	3,797	1,158	5,139	21,905	2,575	24,481	△24,481	—
計	42,824	29,190	29,679	4,088	13,790	119,574	7,570	127,144	△24,481	102,663
セグメント利益	1,020	1,186	157	385	1,117	3,866	211	4,078	△110	3,967

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	31,680	26,097	25,146	2,953	9,006	94,885	5,080	99,965	—	99,965
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,751	38	3,434	1,262	3,349	19,836	2,368	22,204	△22,204	—
計	43,432	26,136	28,580	4,215	12,356	114,721	7,448	122,169	△22,204	99,965
セグメント利益	2,048	270	187	361	991	3,859	522	4,381	33	4,414

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。